

ビブリオバトル講座 in 安宅中学校

7月13日（金）放課後、本校生徒3名（全員安宅中学校出身）が安宅中学校でビブリオバトルの解説、実演を行いました。対象は安宅中学校の1年生と図書委員です。

最初はたくさんの後輩を前に3名ともとても緊張していましたが、中学生が興味をもって聞いてくれて、ホッとした様子でした。その後、中学生もバトラーとなり、本の紹介を行いました。とても上手で、高校生も大いに刺激を受けたようでした。

安宅中学校の先生方、生徒のみなさん、ありがとうございました。



第1回ビブリオバトル in 小松高校

7月17日（火）放課後、今年度1回目のビブリオバトルが開催されました。今回は3年生大会ということで、5名がバトラーとして出場しました。

紹介された本は次の5作品です。

『三国志英雄伝 落談まさし版』（さだ まさし 著）

『青くて痛くて脆い』（住野 よる 著）

『GO』（金城 一紀 著）

『メ切本』（夏目 漱石 他 著）

『星宿りの声』（朝井 リョウ 著）



最後に参加者全員の投票で決まった「チャンプ本」は！
……投票接戦の中、『メ切本』に決定しました。

〈生徒の感想より〉

- ・ みなさん、自分の選んだ本を楽しそうに紹介していらしたので、本当にその本が好きなんだと実感しました。やはり、人が楽しそうに本を紹介しているのを見ると私も本を読みたくなくなってしまうものなのだと思います。
- ・ 普段自分があまり読まないジャンルの本もあったので、興味深かった。読んでみたいと思う本がたくさんあったので、ぜひ、挑戦したい。
- ・ 本の紹介だけでなく著者についても紹介しており、紹介された本だけでなくその著者が書いた作品についてさらに読みたくなりました。また、自分がよく読む本以外についても興味を持つことが出来、自分の視野を広げるきっかけ作りになりました。

